

公益社団法人愛知県医師会 第12回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 7月18日(木) 午後4時00分～午後5時10分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一 城 義政

加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 樫尾 富二 樋口俊寛

伊藤富士子 瀬瀬雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／大野和美

欠席者

理事／稲坂 博 松尾清一 藤原誠治

議事録作成者 横地宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①愛知県臨床整形外科医会主催の市民公開講座〔10/27(日)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

②一般社団法人名古屋市医師会(会長 杉田洋一)主催のAED(BLS)講習会〔8/22(木)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

③愛知県学校保健会(会長 伊藤宣夫)主催の平成25年度愛知県学校保健会県立学校部保健研究大会〔8/21(水)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- (2) 愛知県自殺対策推進協議会委員の推薦について
市川理事より説明があり、西山理事を推薦することが承認された。
2. 第5回愛医総研意見交換会〔8/5(月)〕開催について
(愛知県医師会主催：501会議室)
伊藤(健)理事より説明があり、承認された。
3. 地域医療再生に関する多職種連携協議会委員の変更について
伊藤(健)理事より説明があり、愛知県歯科医師会より推薦の佐藤理之先生から本多豊彦先生、小川直孝先生より竹内友康先生への変更が承認された。
4. 第1回 糖尿病対策推進協議会〔8/23(金)〕開催について
(愛知県医師会主催：805会議室)
城理事より説明があり、承認された。
5. 環境衛生委員会予防接種広域化に関するプロジェクト〔7/29(月)〕の開催並びに環境衛生委員会予防接種広域化に関するプロジェクト委員の追加について
(愛知県医師会主催：601会議室)
瀨瀨理事より説明があり、プロジェクトの開催が承認され、また、愛知県小児科医学会長の北條泰男先生の追加委嘱が承認された。
6. 医療安全に関する講演会〔10/4(金), 12/4(水), 2/7(金)〕開催について
(愛知県医師会主催：ミッドランドホール、ウインクあいち大ホール)
細川理事より説明があり、承認された。
柵木会長より、各講演会について、その都度、県下医師会長等協議会にて案内する旨依頼があった。
7. 第2回愛知県医師会PTLS講習会〔11/24(日)〕開催について
(愛知県医師会主催：9階大講堂)
細川理事より説明があり、承認された。
8. 第6回小児救急に関する研修会〔11/26(火)〕開催について
(愛知県医師会主催：9階大講堂)
細川理事より説明があり、承認された。
9. 日本医師会ACLS(二次救命処置)研修の指定について
細川理事より説明があり、承認された。

10. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔8/6(火)〕開催について
(愛知県医師会主催：救急医療情報センター)

細川理事より説明があり、承認された。

11. 各種委員会・部会について

- A) 広報委員会〔8/14(水)〕の休会について

吉田理事より説明があり、承認された。

—協議事項—

12. 平成25年度 看護職員確保対策事業協定経費配分表(案)について

市川理事より説明があり、例年、本会がJRや名鉄への生徒募集広告作成費として100万円捻出していたが、効果が薄いため、その分を各地区へ回すこととなり、今年度は本会分の通信費20万円を差し引いた80万円を地区へ回し、資料の通り配分することが承認された。

柵木会長より、来年度は本会負担分の減額について検討する旨の発言があった。
城理事より、該当医師会について質問があり、市川理事より、看護師確保事業をしている医師会へ配分していると回答があった。

13. 平成25年度看護師等養成所運営費補助金(県単独補助事業)配分表(案)について
市川理事より説明があり、資料の通りの配分及び、本会からの補助金として、准看護師課程60万円、正看護師課程80万円、助産師課程80万円の配分について承認された。

柵木会長より、今年度は予算承認を得ているので原案通りでよいが、来年度より徐々に減額していくか、検討の余地があるとの発言があった。

14. その他

—報告事項—

1. 健康推進学校総合審査会〔7/10(水)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター地下2階F2会議室)
伊藤副会長より、健康推進学校審査について、特別優秀候補校（小学校4校・中学校2校）、優秀候補校（小学校4校）について報告された。
2. 支払基金幹事会〔7/10(水)〕について
(支払基金愛知支部主催：支払基金愛知支部)
伊藤副会長より、支払基金の一般会計、損益計算書等について幹事会にて報告があったと報告された。
3. 愛知県社会福祉審議会〔7/11(木)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
伊藤副会長より、委員長、副委員長の選任について、地方版子ども・子育て会議について、あいち健康福祉ビジョンについて、その内容を報告された。
4. 「平成25年度健やかな妊娠等サポート事業」企画選定委員会〔7/5(金)〕について
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)
可世木理事より、高齢出産、不妊治療の増加が問題になっていることから、女性(3,000人以上)に対し、妊娠・出産等の知識・意識について実態調査を行うことを目的とし、4大学を対象に企画提案様式による公募制としたところ、名古屋市立大学産婦人科杉浦教授から応募があり、審査の結果、企画提案が適当と判断されたと報告された。
5. 愛知医療労働企画委員会〔7/10(水)〕について
(愛知労働局主催：KKRホテル名古屋)
市川理事より、議事(1)について、平成25年度以降、医師、薬剤師等の医療職種についても、同等の扱いをすることとなり、議事(2)について、アウトカム(離職率)については、次回までに取りまとめ報告する、議事(3)について、労働局のネットに掲載しPDF化し、経費節約すると報告された。
6. 健康教育講座〔7/4(木)〕について
(愛知県医師会主催：9階大講堂)
吉田理事より、「高齢者のセクシャリティ」として名鉄病院院長細井延行先生にご講演いただき、192名の参加があったと報告された。
城理事より、講師の診療科目について質問があり、吉田理事より産婦人科と回答された。

7. 心電図精度管理調査解析検討会〔7/7(日)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、学校保健部会学校健診委員会(心臓)の10名の先生により、小中学校5,693名、高等学校3,519名の合計9,212名の心電図の診断、判定を行い、原診断、判定結果と突き合わせ、その精度を判定した。集計結果は1月の報告会等で報告するとともに報告書にまとめると報告された。

8. 第4回愛医総研意見交換会〔7/3(水)〕について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、名古屋市立大学医学部非常勤講師(愛医総研客員研究員)佐野芳彦先生を講師として、「感性単位のモジュール化～音楽による高齢者の認知機能評価」をテーマに意見交換を行い、出席者は愛医総研関係者6名、医師会関係者4名、傍聴者10名であったと報告された。

9. 愛知県損害保険医療協議会平成25年度第1回専門委員会〔7/4(木)〕について

(愛知県損害保険医療協議会主催：501会議室)

城理事より、自賠責新基準とは、労災に準じた請求を行うという方法で、全国平均62%であるが、愛知県は37%であり、どちらを選ぶかは、各医療機関の自由である。一括払いの中止では、被害者の不正などで、治療後であっても保険会社から一方的に断ってくるケースがあり、病院は治療費の回収が不能となることがあり、疑わしい症例は、早めに医療機関に連絡してもらうよう申し入れ、また、自賠責研修会は11月6日(水)に開催予定であると報告された。

10. 第18回(2013年度第1回)名古屋記念病院地域医療支援病院運営協議会〔6/21(金)〕について

(名古屋記念病院主催：名古屋記念病院研修センター)

大輪理事より、平成25年4月から専任の救急部長が着任し、臨床研修医を10名採用するなど、救急に力を入れているが、危惧されていることとして、来年度の新基準では愛知県内にある15の地域医療支援病院のうち、10病院が地域医療支援病院から外れることとなるが、現在、特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会で議論中と報告された。

柵木会長より、名古屋市医師会ITシステム病診医療ネットワークについて質問があり、大輪理事より、電子カルテが富士通のシステムを使用しているためニューメルクは参入できないので何とかして欲しいとの病院側の意見であると発言された。

伊藤(健)理事より、ニューメルクとの関係について質問があり、大輪理事より、富士通の電子カルテのシステムにはニューメルクを使った通信システムがないとの発言があった。

- 1 1. 名古屋第二赤十字病院 第 31 回地域医療支援病院運営委員会〔6/24(月)〕について
(名古屋第二赤十字病院主催：名古屋第二赤十字病院)
大輪理事より、本病院は、新基準になっても地域医療支援病院は継続できること、また、生活困窮者の医療費問題について、名古屋市の資格証明書について説明があったと報告された。
柵木会長より、全額支払われないことは大きな問題であるとの発言があった。
- 1 2. 平成 25 年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会会計監査・第 1 回常任委員会〔7/6(土)〕について
(全国医師会医療秘書学院連絡協議会主催：東京ステーションコンファレンス)
大輪理事より、常任委員会に先立って開かれた会計監査は、山梨県医師会原副会長の議事進行により監査が行われ、第 1 回常任委員会では、報告事項では昨年度の事業・決算報告等、協議事項では、今年度の事業・予算案等について協議、次年度当番県は宮城県医師会とし、了承された。平成 26 年度愛知県医師会医療秘書学院生徒募集については、日本医師会にて「即実践力となる医療秘書」を目的に医療秘書養成要綱が改定され、平成 26 年度より新カリキュラムを実施する必要がある、新カリキュラムには「医療機関での実習」が必修科目として追加され、本学院(通信制)では「実習」を行う事が困難となり、このような状況を柵木会長・横井副会長へ説明・相談し、現在、業務提携を結んでいる「あいちビジネス専門学校」へ、「通信制」の委託を検討中である。そのため、平成 26 年度生については、募集しないこととし、現在、通信制を委託するにあたり、日本医師会やあいちビジネス専門学校と調整中と報告された。
- 1 3. 平成 25 年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会(第 1 回)〔7/10(水)〕について
(愛知県医師会主催：9 階大講堂・8 階会議室)
大輪理事より、講師・役員を含め 242 名の参加者があったと報告された。
柵木会長より、医師の参加者数について質問があり、大輪理事より会員 52 名、医療安全役員・講師 9 名の 61 名と回答された。
- 1 4. 平成 25 年度知多地域産業保健センター運営協議会〔7/4(木)〕について
(知多地域産業保健センター主催：
半田市医師会健康管理センターPET 棟 4F 大会議室)
西山理事より、平成 24 年度事業実績について予算額 8,000,000 円が 3,148,998 円の執行残額であり、予算が上手く使われていない印象があり、また、昨年度は運営協議会が開催されず、様々なことが周知徹底されていないので労働基準監督署、商工会議所に口添えをお願いした。平成 25 年度委託実施計画については、24

年度と同じ計画。本年度はメンタルヘルス対策に力を入れた事、健診結果にセンターのパンフレット同封をお願いしたいと報告された。

山本副会長より、コーディネーターの数についての発言があり、西山理事より、経費的に問題があるのではと発言され、山本副会長より、臨床検査センターの兼任でやっていると言われた。

15. 平成25年度豊田加茂地域産業保健センター運営協議会〔7/10(水)〕について
(豊田加茂地域産業保健センター主催：豊田加茂医師会館)

西山理事より、平成24年度の事業実績が23年度比で特定健康相談開催回数12回増加、相談実施件数559名増加、長時間労働実施人数30名増加で、予算は6,000,000円で執行額4,448,824円、平成25年度委託実施計画は24年度と同じであり、引き続き、労働基準監督署、商工会議所からの口添え協力をお願いし、また、治療と職業生活の両立に関する相談が追加の事業となったことが報告された。

16. 産業医研修会〔7/5(金)・7/10(水)〕について
(愛知県医師会主催：愛知県医師会館、トヨタ自動車(株)堤工場)

西山理事より、7月5日(金)は愛知県医師会館にて開催し108名、10日(水)はトヨタ自動車(株)堤工場にて開催し、30名の出席があったと報告された。

17. 第7回男女共同参画委員会〔7/5(金)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、式次第に従い、主に日本医師会理事の女性医師枠創設に関する要望書及び男性医師の意識調査について討議し、男性医師の意識調査について、臨床研修指定財団の会員1,100弱の病院を対象に送付することになり、第9回男女共同参画フォーラムのフォーラム宣言について協議されたと報告された。

18. 愛知県警察本部 検視実務専科〔7/3(水)〕について
(愛知県警察本部：愛知県警察学校)

愛知県警察学校にて、各警察署の刑事1~2名に対して講義を行い、強制採血、強制採尿の対応について報告された。

19. 各種委員会・部会について

A) 第1回医療関係者・看護学校検討委員会〔7/4(木)〕について
(801会議室)

市川理事より、来年度の入試を2月15日(土)と2月22日(土)の2日間に分けて行い、試験科目に関しては、国語は必須、数学は各学校の判断で実施していただく事になった。また、准看護学校学生募集広告については、直接効果が見えないことから、本会での広告作成を取りやめる方向で協議がなされたと報告された。

B) 難治性疾患委員会〔7/8(月)〕について

(803・804 会議室)

大輪理事より、愛知県、名古屋、愛知労働局、愛知県難病医療ネットワークより資料に基づき実績報告。特定疾患の医療補助について、この5年で増加している、労働局からの報告として、今年度から全国の15箇所のハローワークに難病支援サポーターを置き、名古屋市は中区のハローワークに置かれた。また、難病相談室より平成24年度の相談実績報告、平成25年度事業計画について報告し、協議を行ったと報告された。

C) 学校保健部会幹事会〔7/9(火)〕について

(6階研修室)

吉田理事より、主に3月2日(日)開催予定の「学校保健シンポジウム」について検討した。特別講演は「いじめ」についての講演はどうかとの意見があった。シンポジウムについては「アレルギー」をテーマにしてはどうかとの意見に対し、アレルギーに限らず、現在の学校保健に関連した問題点を各医会から発表してもらい討論するのがよいとの意見が出たと報告された。

D) 広報委員会〔7/10(水)〕について

(804 会議室)

吉田理事より、校正班分担の確認、トップ原稿、表紙作品を協議した。広告については1件を審査し、すべてを掲載了承したと報告された。

20. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年7月18日